

# スキャナ（富士ゼロックスDocuScan C4260）の利用方法

## 1. 電源を入れる

### 1-1. 電源スイッチ

電源が入っていない場合は、電源を入れます。

<節電中/解除> ボタンが、緑色に点灯している時は、ボタンを押します。



自動原稿送り（両面原稿対応） Multi Document Feeder

八ガキサイズ～A3サイズの複数枚原稿を自動的に原稿送りして読み込むことが可能です。

電源スイッチは、スキャナ右側面にあります。

Power Switch on Right Side

<節電中/解除> ボタン : 緑色に点灯している時は、ボタンを押します。

Cancel for Power Saving mode

## 2. スキャンデータについて、知っておきたいこと

### 2-1. 出力ファイル形式

原稿をスキャンすると、次のいずれかファイル形式で、USBメモリに保存されます。

初期設定では、出力ファイル形式は白黒のPDFファイルで保存されます。必要に応じて、指定します。

出力ファイル形式は、操作パネルの[基本スキャン]画面で設定できます。

種類	ファイル形式	拡張子	目的
文書	PDF	.pdf	編集せずに印刷する、またはデータを送る場合 PDF(1ページ1ファイル)は、自動原稿送りをを使用する場合、1ページずつ分割し保存します。
	DocuWorks文書	.xdw	(使用しません。DocuWorks専用形式)
画像	TIFF	.tif	白黒画像に適します。 読み取った画像を編集する場合。
	JPEG	.jpg	カラー画像に適します。 読み取った画像を編集する場合、メールで送る場合。

### 2-2. 読み取り解像度

原稿を読み取る際の解像度を設定できます。

200dpi, 300dpi, 400dpi, 600dpiの値から選択するか、任意の解像度を200～600dpiの範囲で、1 dpi刻みで指定できます。

数値が大きくなるほど、細かく読み取られますが、データ量は大きくなり、読み込みや保存等に時間がかかります。

初期設定では 200dpiになっています。推奨設定 通常原稿：200dpi 小さな文字原稿：300/400dpi

# 3. メディア保存 (USBメモリに保存)

## 3-1. メディア保存をする (USBメモリに保存)

USBメモリをUSBコネクタに挿入します。

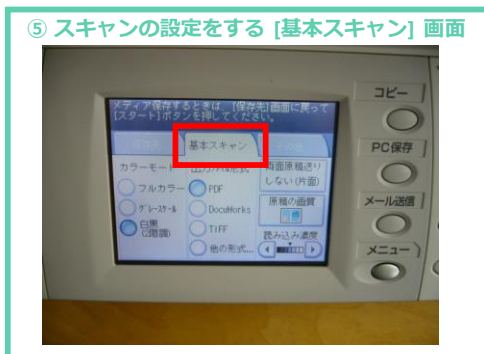


② スキャンする原稿をセットします

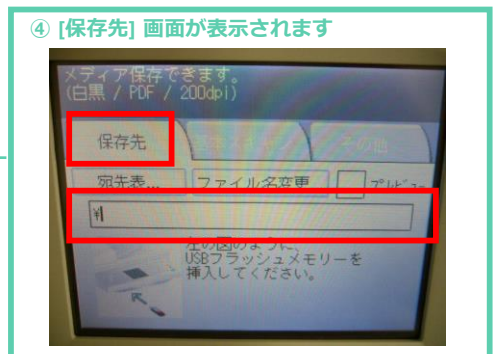


タッチパネルディスプレイに、  
[メニュー] 画面が表示されていることを確認します。

[メニュー] 画面が表示されていない場合は、  
操作パネルの<メニュー> ボタンを押します。

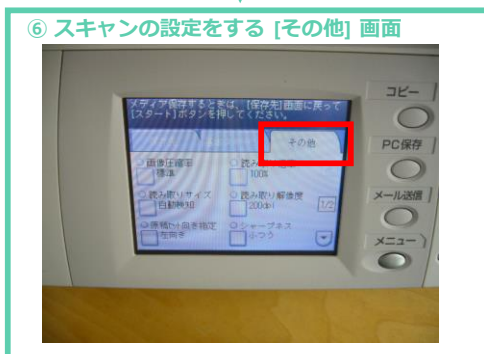


必要に応じて...



[基本スキャン] をタップします。  
必要に応じて、[基本スキャン] 画面では、  
カラーモード、出力ファイル形式、画質等のスキャン  
条件を設定できます。

ファイル名は、  
自動でつくファイル名 [img-数字 (保存した日付  
と時間)] になります。  
必要に応じて、ファイル名を入力することもできます。  
特に指定がなければ、入力せずにこのままで、USB  
メモリのトップに保存されます。



[その他] をタップします。  
必要に応じて、[その他] 画面では、  
読み取りサイズ、読み取り解像度等のスキャン条件を  
設定できます。

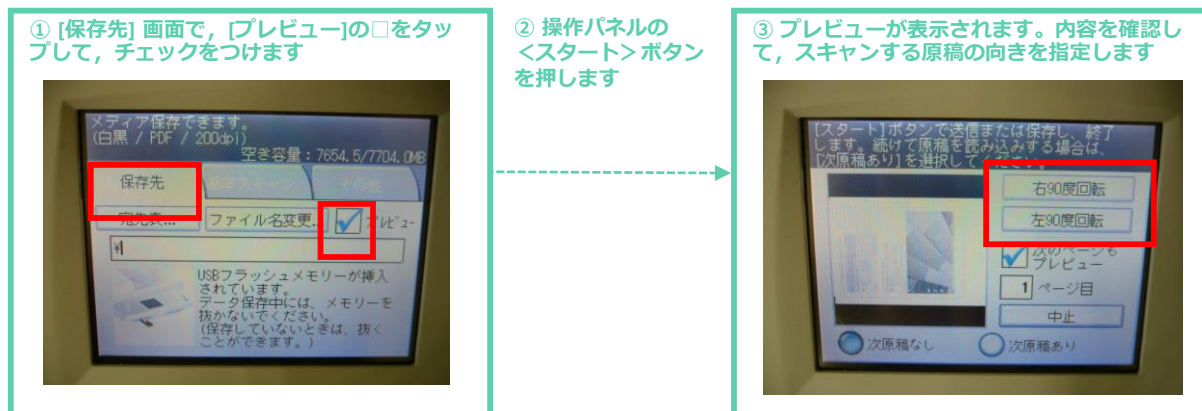
最後に、[保存先] 画面をタップして、<スタート>  
ボタンを押します。

保存が完了したら、USBメモリを取り出します。

## 3-2. プレビューを表示してスキャンする

スキャンを実行する前に、プレビューを表示して、スキャン内容を確認できます。

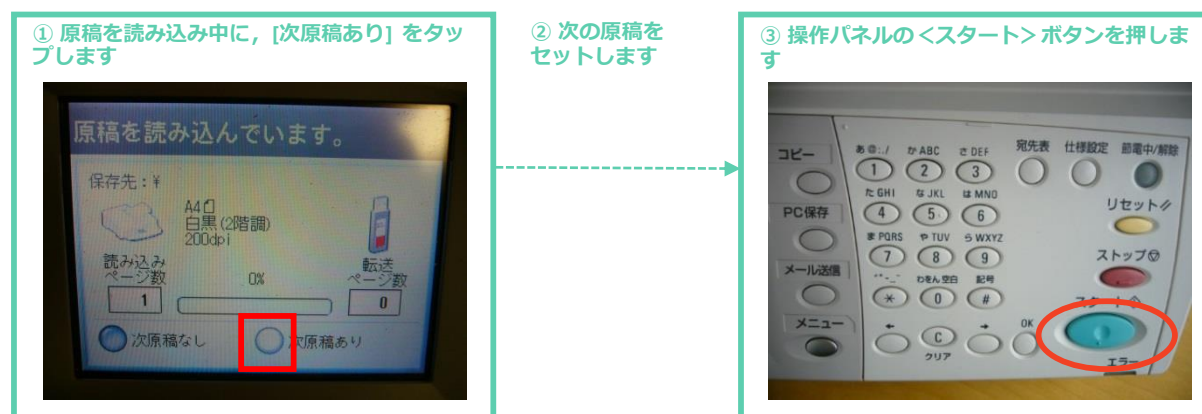
出力ファイル形式が、PDFまたはDocuWorks文書の場合は、画像を回転して保存できます。



原稿の向きを確認後、操作パネルの<スタート>ボタンを押します。  
スキャンが実行されます。

## 3-3. 次の原稿があるとき

セットした原稿に続けて、ほかの原稿を同じジョブとしてスキャンしたい場合、最初の原稿を読み込み中に[次原稿あり]をタップします。



さらに、次の原稿があるときは、原稿のセットと<スタート>ボタンを押す操作を繰り返します。

すべての原稿を読み込んだら、[次原稿なし]をタップします。

## 4. 補足

### ○ [保存先] タブ

初期設定はUSBメディアのトップに保存されます。必要に応じて保存先フォルダを指定して下さい。

ファイル名は自動的に設定されます。(例: img-102030400 : 1月02日03時04分00秒)

### ※対応しているUSBメディア

- ・ FAT形式 (容量 2GB以下)
- ・ FAT32形式

※NTFS形式、exFAT形式には対応しておりません。

## ○ [基本スキャン] タブ

### (1)カラーモード

- ・フルカラー            カラー原稿（例：写真）
- ・グレースケール      濃淡のある白黒原稿（例：鉛筆書き）
- ・白黒(2階調)          濃淡のない白黒原稿（例：活字・楽譜）

### (2)出カファイル形式

- ・PDF                  編集せずに印刷する、データを送る場合
- ・DocuWorks          （使用しません）
- ・TIFF                 読み取った画像を編集する場合（例：ワード等に貼り付ける）
- ・他の形式
  - ・JPG                 読み取った画像を編集する場合、メールで送る場合（TIFFよりファイルサイズが小さくなります）
  - ・PDF(1ページ1ファイル)   自動原稿送りをを使用する場合、ページを分割する。

### (3)自動原稿送り（両面原稿対応）

ハガキサイズ～A3サイズの原稿で同一サイズの原稿を自動原稿送りして読み込むことが可能です（両面読み込み対応）

※原稿にしわ・折れ・破れがある場合、テープを貼っている場合、原稿が詰まる場合があります。

### (4)原稿の画質

- ・文字                 文字をはっきりスキャンしたい場合
- ・文字/写真          文字と写真が混在した原稿（自動判別）
- ・写真                 写真をスキャンする場合
  - ・印刷写真            プリンターで印刷した写真、書籍の写真部分
  - ・印画紙写真          印画紙に焼き付けされた写真

### (5)読み取り濃度

読み込み濃度を調整できます。

## ○ [その他] タブ

### (1)読み取りサイズ

自動検知／定型サイズ／任意設定

### (2)推奨読み取り解像度

- ・通常の原稿            200dpi
- ・小さい文字原稿        300～400dpi

## 5. 読み取った画像の編集方法

### (1)簡単な編集

（サイズ変更・拡大/縮小・必要な部分の切り取り・文字入れ）

Windowsアクセサリの「ペイント」

### (2)高度な編集

（斜めに読み込まれた画像の角度補正、写真画像の補正・加工）

- ・GIMP
- ・Photoshop          （マルチメディア教室のみ使用可能）